

私たちの まちづくり

小さな市民の 大きな力

第3部 歴史と市民



Chapter 10 アレクサンドロスの東方支配

Chapter 11 フランス革命は正しかったのか？

Chapter 12 帝国議会と民撰議院論争のゆくえ

Chapter 13 五・一五事件にどう向き合うか

Chapter 14 平和と豊かさの奥に隠されたもの

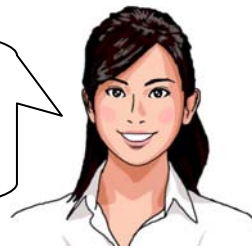
私たちが暮らす現在の社会は、長い期間をかけて培われてきた歴史や伝統の上に成り立っています。先人が社会的な問題について悩み、考え、議論し、創意工夫をしてきた結果が、現在の社会を生み出したといっても過言ではありません。

時代や地域との関連、時代を超えた共通点や相違点に視野を広げることで、私たちは歴史から現代にも通用する「ものの見方・考え方」を学ぶことができます。さらに歴史上の国際関係や文化交流の様子は、異文化や諸外国との国際協調について、参考となる視点を示すでしょう。

第3部では、先人が経験してきた苦難を振り返ることで、現代に連なる社会的な課題と向き合うための視点や哲学について学習します。



紀元前4世紀、ギリシア北部の山岳地帯にあるマケドニアの王になったアレクサンドロス3世は、破竹の勢いでギリシア全土を征服し、東方にも支配地域を広げて、多民族からなる大帝国を築き上げました。



やってみよう！ アレクサンドロスが支配した地域を、線で囲もう！



活動内容

- ① メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明、ギリシア文明、黄河文明が起こった場所に印をつける
- ② アレクサンドロスが支配した地域を線で囲んで、色を塗る
- ③ アレクサンドロスの大帝国の範囲内に、現在では何力国の国があるのか、地図帳を使って調べる

世界市民主義の困難

アレクサンドロス (前356~前323年)

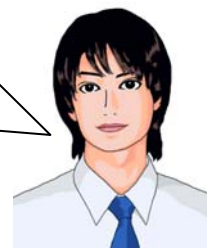
アリストテレスからギリシアの先端教養を学び、父王が暗殺されたことで、20歳で王位についた。

ギリシアからエジプト、ペルシアに至る大帝国を築き上げるも、インド遠征に失敗した直後に病気で急死し、帝国は崩壊した。

ギリシアの民主文化

ギリシアの人々はポリスの政治に参加する権利を持つ者(市民という)は対等だと考え、一方で市民でない者はポリスに属さず、対等の存在でもないと考えた。

アレクサンドロスは始め、世界一進んだギリシアの文化を世界中に広めなければならないと考えていたそうだよ。でも各地を支配していくうちに、各地域の文化の中にギリシアの文化とは違った素晴らしさがあると感じたんだって。



アレクサンドロスは世界市民主義を唱えて、ギリシアの文化のみならず、様々な文化を大切にして、様々な立場の人を対等に扱うことが重要だと考えました。しかしアレクサンドロスの部下達は、そんなアレクサンドロスを批判したのです。



アレクサンドロスの考え

- 1 ギリシア人は、ギリシア人以外を自分達とは異なる劣った存在だと言って尊重しないが、ペルシアにもエジプトにも素晴らしい文明が存在している。そんな文明を生み出せる人々は、我々ギリシア人と同じく素晴らしい存在であり、尊重されるべきである。
- 2 ペルシアやエジプトの専制主義は素晴らしい文化であり、ギリシアの民主主義の文化だけが素晴らしい文化とは限らない。ギリシアにも専制主義を取り入れたら、国民は政治に責任を持たなくてもよくなり、国をどうするのか国民が悩み、対立する必要もなくなる。
- 3 ギリシアの文化を押し付けず、各地域の文化を尊重し、ギリシア人が各地の文化を積極的に取り入れることで、各地域の人々もギリシアの文化を受け入れてくれるだろう。

- 1 我々はペルシアを始め東方を支配するために、アレクサンドロスの命令に従って命がけで戦った。なのに、アレクサンドロスは敵の文化を受け入れ、敵の娘と結婚し、仲良く暮らせと言う。これではペルシアに支配されたのと同じだ。我々の得るものが何もない。
- 2 ギリシア人にとって王とは対等な友人である。しかしアレクサンドロスは東方の専制主義の文化を尊重するため自らファラオとなり、王を神に等しい存在としてしまった。アレクサンドロスとギリシア人は対等の友人であるべきで、我々は王の奴隷ではない。
- 3 ギリシア人と対等な人間はギリシア人だけであり、政治に関わることはギリシア市民の権利である。ギリシア市民の代表者である王が、ギリシア市民の政治参加の権利を勝手に踏みにして、王ひとりて何事も決めていくのは、ギリシア市民への裏切り行為である。

東方の専制主義

エジプトでは、王はファラオと呼ばれて神に等しい存在だと考えられた。ペルシアでも王は神と同等の存在だとされていた。
このような国々ではギリシアのように市民が政治に参加することはなく、王の独断で政治が行われた。

考えてみよう！

アレクサンドロスと、アレクサンドロスを批判する部下の考えを参考に、あなたや征服地の人々はどう思うか、考えてみよう。

アレクサンドロスの功罪

	あなたが賛成できる部分	あなたが賛成できない部分
アレクサンドロスの行動や考え		
ギリシア人部下の行動や考え		

アレクサンドロスに征服された人々は、アレクサンドロスとその部下の論争について、どう感じただろう？	
--	--

やってみよう！

アレクサンドロスが目指した世界市民主義を実現させるには、どのようなことが大切だと、あなたは考えますか？

異なる文化や考え方をを持った人々が、共に対等な仲間としてより良く暮らしていけるには、

	が大切ではないか。
--	-----------

アレクサンドロスが行ったことについて、あなたの感想や、どうすれば上手いくのかの提案を、アレクサンドロスへ手紙に書いて知らせよう！

アレクサンドロスへの手紙

アレクサンドロス3世さんへ

発展

異なる民族や異なる文化を受け入れて共生するために、古代の日本ではどのような様子が見られるのか、探してみましょう。

西欧の中心地であったパリで 1789 年に始まったフランス革命は、西欧社会に大きな衝撃を与えました。周辺各国はフランス革命の成果を否定して、革命が飛び火しないよう対仏大同盟を結成し、フランス革命戦争を起こしました。



やってみよう！ フランス革命の前後での、フランスの変化をまとめよう。

	革命前のフランス	革命後のフランス	1789 年頃のイギリス
政治体制			立憲君主 (制限君主) 制
主権者			憲法で制限を受けた国王
社会の様子			都市人口が急激に増加し、都市の過酷な労働環境が問題になるも、選挙権は裕福層だけに与えられたため、議会は社会問題の解決に遅れた。

社会契約説と保守主義

人口増加と天候不良で食糧が不足して民衆が苦しんでいるのに、裕福な貴族だけが豊かな生活をしていたら、民衆が不公平を感じて怒るのも当然じゃないかな。周辺各国はなぜ、フランス革命を批判したのだろう？



フランス革命を正当化する根拠となったルソーの社会契約説と、フランス革命批判の根拠となったバークの保守主義を読み比べてみましょう。



対仏大同盟 (1793~1815 年)

イギリスを中心とした欧州諸国が、革命で王政を否定したフランスを倒すために結成した同盟。
ナポレオンを倒して、フランスの王政復古を達成した。

ルソー (1712~1778 年)

スイス生まれの哲学者・思想家で、フランス革命に影響を与えた。社会契約説を説いた書物『社会契約論』や、近代教育に多大な影響を与えた教育書『エミール』が有名。

ルソーの社会契約説

- 人間は生存を脅かす、個人では解決できない問題が発生すると協力し合う存在であり、その協力の中で生まれる、人々の約束が「社会契約」である
- 社会契約で作られた共同体が国家であり、1人1人はより良く生きるために社会契約を結んだのだから、国家は個人の自由や権利を守らなければならない
- 個人は社会契約を結んだ以上、国家に従わなければいけないが、国家は社会契約を結んだ人民により作られたものであるから、国家の方針を決める権利（主権）は人民にある
- 王や政府とは人民が決めた方針の実行役であり、王や政府の実行方針が人民の意志に反したものであれば、人民は今の王や政府を倒して、自由に新しく作ることができる

バークの保守主義

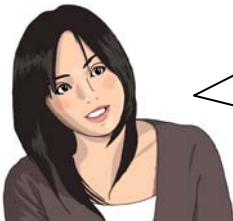
- 1 個人が持つ知識や判断力は絶対ではなく、人間は知らないことも多ければ判断ミスも犯す不完全な存在であり、個人の理性で考えたことが必ずしも正しいとは限らない
- 2 昔から残る伝統や習慣・価値観というのは、苦難を乗り越えてきた人々の経験を延々と積み重ねてきたものであり、まさに歴史的に積み重ねた理性の集合体とも言える
- 3 今を生きる人々が現在の個人の理性を絶対視して、長い年月をかけて積み上げてきた伝統や習慣・価値観を否定することは、社会を破壊し、歴史的に獲得した権利も危険にさらす
- 4 習慣や伝統に従って運営される国家は意味のある有益なもので、時代にあわせて不都合な点だけを修正すればいいのであり、安易に王や政府を倒して新しく作り変えるべきでない

エドモンド・バーク
(1729～1797年)

イギリスの哲学者で政治家。名誉革命にいたるイギリスの歴史的努力を擁護して、人権は天が与えたものとする考え方を否定し、人間の長年の努力により獲得されたものだとした。議会による政治を擁護した。

リベラリズム

自由主義のこと。歴史的な価値観・伝統から解放された個人の自由や権利、平等を重んじ、社会的公正を目指す。



ナポレオンの登場で、フランス革命自体はナポレオンの独裁へと進みましたが、あなたはルソーの主張とバークの主張とでは、どちらの主張に賛成できますか？

考えてみよう！

2人の主張の中から、納得できそうな部分と、反論できるかもしれない部分を探してみましょう。

当時の議論に参加しよう

	ルソーの主張	バークの主張
納得できそうな点の内容		
反論できるかもしれない点の内容		

やってみよう！

グループで話し合っテルソーとバークのどちらの意見に賛成するか決めて、グループ単位でルソー派とバーク派に分かれて討論をしてみよう！

ルソーやバークの主張に対する賛同の意見や反論を聞いて、あなたなら2人の主張のどの点を、どのような内容に修正しますか？

あなたの政治哲学

発展

個人の自由・権利・平等と、歴史的な伝統・習慣・価値観のどちらを重視するのかという対立が、日本の中ではどう見られるのか、注目してみよう。

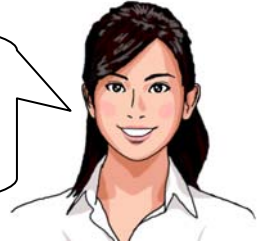
Chapter 12

議会と有権者

帝国議会と民撰議院論争のゆくえ

—— 有権者に求められる資格と資質 ——

征韓論で対立し政府を去った板垣退助らは、自身の主張を聞き入れない政府の態度に納得がいかず、1874年に民撰議院設立建白書を提出し、国会の開設を求めました。こうして始まったのが自由民権運動です。



やってみよう！ 自由民権運動に対する、国民や政府の反応をまとめよう。

	自由民権運動家や国民の対応	政府の反応
1874年 ～ 1880年		
1881年 ～ 1890年		

3部 歴史と市民

民撰議院論争と3つの主張

当時の人々により政党が作られ、様々な憲法案も出されたのよね。ということは、自由民権運動を進める人々の中でも、国会の開設に対する具体案は異なっていたのかな？



実は当時、国会の開設方法をめぐって、民撰議院論争というものが起こりました。そこで、論争に参加した3人の主張を見ていきましょう。



加藤弘之の主張

- 1 国会の開設は望ましいことだが、平民の多くは政治に必要な知識を持っておらず、士族であっても正しく政治を理解できる者はわずかしかない
- 2 今のような状態で国会を開いてしまえば、愚かな考えで正しくない議論を行い、日本を良くない方向へ導いてしまうだろう
- 3 今は政治のすべてを政府にまかせて、政府が学校を作って人々を教育し、国民が政治に必要な知識を身につけてから、国会を開設すべきである

民撰議院論争

板垣退助による民撰議院設立建白書について、学術誌『明六雑誌』上で始まった論争。やがて論争は雑誌外へ飛び火して、反響を呼んだ。

加藤弘之 (1836~1916年)

政治学者で、帝国大学(現在の東京大学)の総長や貴族院議員も勤めた。当初は天賦人權説を主張していたが、後に変節して自由民権を批判した。

板垣退助の主張

- 1 今すぐに国会を開設して政府関係者以外も政治に参加させるべきだが、政治についての知識を持たない平民までも、政治に参加させるべきだとは思わない
- 2 士族の者や裕福な人間は昔から勉学に励み、政治についての知識もすでに持っているに違いないから、平民とは異なり今すぐに政治に参加しても問題は起こさないだろう
- 3 今すぐに国会を開設し、高額な税金を負担できる人だけに参政権を与えれば、平民を国会に参加させずに、士族の者や金銭的に裕福な人だけを国会に参加させることができるはずだ。

板垣退助
(1837~1919年)

土佐藩出身の武士で、明治維新後は国政の要職を歴任するも、征韓論を主張して大久保利通らと対立し、辞職した。辞職後は自由民権運動を開始し、大隈重信と共に日本初の政党内閣を誕生させた。

大井憲太郎の主張

- 1 政府が国民の意見を聞かずに勝手な政治を行っていることを止めるためには、今すぐにも国会を開設しなければならない
- 2 一部の人にだけ政治への参加を認めてしまうと、政治に参加できる一部の人にだけ都合の良い政治を行ってしまい、政治に参加できない多くの庶民の意見が無視されてしまう
- 3 今はまだ政治についての知識を持たない人々も、政治へ参加することを通して、実際の政治について学ぶことができるだろうから、全ての国民を政治に参加させるべきだ

大井憲太郎
(1843~1922年)

社会運動家で、急進的な自由民権運動の指導者として活躍した。大阪事件で投獄されるも、釈放後に衆議院議員となった。

考えてみよう!

3人の主張のメリット・デメリットをまとめよう

民撰議院論争に参加しよう

	利点・メリット	問題点・デメリット	賛否
加藤弘之の主張			
板垣退助の主張			
大井憲太郎の主張			

やってみよう!

上の表の「賛否」の欄に、賛同する主張に「○」を、賛同できない主張に「×」を書き入れ、賛同する意見ごとに分かれて全体討論をしてみよう。

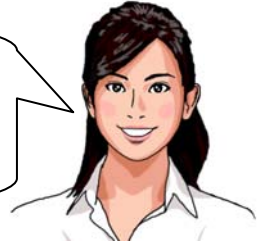
あなたも民撰議院論争に参加して、国会の開催のあり方を提案しよう。

自由民権を考
える

私からの提案内容

発展

帝国議会に立候補できる条件や、議院選挙で投票できる条件はどのような内容になったのか、確認してみよう。



日本は第一次世界大戦後の慢性的な不況の中、1929年に始まった世界恐慌の影響を受け、景気が大きく悪化しました。また大凶作も発生しましたが、日本政府は上手く対処できず、政府に対する国民の不満は高まっていきました。

やってみよう! 恐慌の中での庶民の生活について、まとめよう。

都市や農村での、庶民の生活の状況	庶民は苦難をどう解決しようとしたか

3部 歴史と市民

五・一五事件と国民の反応



高まる不満の中、昭和維新の名の下に様々なテロ事件が発生し、1932年5月15日に起こった五・一五事件でついに首相が暗殺されました。

海軍の青年将校や陸軍士官学校の学生が、首相官邸を襲撃して犬養毅首相を暗殺したんだよね。どうして若手の軍人たちは、こんな事件を起こしたのかな？



昭和維新

1930年代に起こった、国家改造運動。不況の原因は政党政治にあるとして、数々のテロ事件を起こし、天皇が直接統治する社会主義的な国家体制の成立を目指した。

犬養毅

(1855~1932年)

立憲政友会に所属し、1931年に首相となると、中国との対話で満州事変の平和的解決を目指した。

また恐慌への対策として高橋是清を大蔵大臣とし、他国に先駆けて景気回復の道筋をつけたが、一方で軍部の増長を促してしまった。

五・一五事件の概要

実行犯

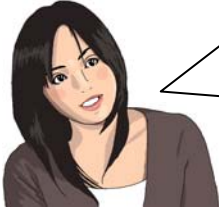
海軍関係者 6名 陸軍士官学校関係者 12人 民間人 4人(武器・資金提供)

犯行内容

- ① 犬養毅首相の殺害
- ② 日本銀行・立憲政友会(事件当時の政権政党)本部に手榴弾を投げ込み
- ③ 内大臣邸宅と警視庁を襲撃し、警備員など数名が負傷

事件の影響

- ① 軍部の力を恐れて、大正デモクラシーによる政党内閣が終了し、選挙で支持された政党からではなく、軍部を抑えることができる元軍人から首相(元海軍大将の斎藤実)を選んだ。
- ② 国内での対立をなくし一致団結して苦難に立ち向かうため、選挙結果とは無関係に野党や官僚からも大臣を選んで挙国一致内閣を組閣したため、ファシズム化が進んだ。
- ③ 軍部が勝手に侵攻し作った満州国を日本政府が正式に承認し、日本を国際連盟から脱退させるなど、軍部に対し妥協した政策を取った。



五・一五事件で逮捕された青年将校たちは、裁判にかけられました。裁判での青年将校たちの主張に多くの国民が感動し、国民の声に押される形で、青年将校たちの刑は首相を暗殺したにしては、極めて軽いものになりました。

統帥権干犯問題

憲法を根拠に、政府は軍の編成に口出しする権利がないとする主張。政府による兵力削減に反対する軍部、当時は野党議員だった犬養毅らが政府批判のために主張したが、軍部はこれを理由に政府の指示に従わなくなり、後に首相となった犬養毅は軍部と対立することとなった。

二・二六事件

1936年に起こった陸軍皇道派によるクーデタ。昭和維新を唱えて天皇親政を目指し、大規模に軍を動かして政府要人の暗殺を図ったが、陸軍統制派に鎮圧された。陸軍統制派に頼った政府は軍部に逆らえなくなり、戦争への道を進んだ。

青年将校たちの主張

- 1 政治家も財閥も腐敗しきっており、違法な献金や買収を行い、金権政治や不正選挙がはびこり、自らの私利私欲のために庶民を苦しめ、国民を裏切って国を滅ぼそうとしている
- 2 天皇陛下に全てを任せれば必ず政治は上手くいくが、政府が天皇陛下と国民の間に入って天皇陛下に庶民の辛さを伝えまいよう邪魔をしているため、非道な政府を倒す必要があった
- 3 軍人は国を守るために存在しており、たとえどのような罪に問われようと苦しんでいる国民を救うために、国民の気持ちを代弁して正しいことをしたのだから、悔いはない

裁判の影響

- 1 庶民を思う青年将校たちの主張に感激した国民の間で助命嘆願運動が起こり、100万人以上の署名が集まり、青年将校たちを免罪すべきだとする主張が盛り上がった
- 2 青年将校たちは死刑や無期懲役を求刑されたが、国民の声を受けて数年度程度の禁固刑で済み、しかも多くは恩赦で早々に釈放されて、後に軍部に復帰して出世した
- 3 国民の支持による判決の軽さを見た陸軍の青年将校たちが、同様の事件を起こしても大きな罪には問われないだろうと自信を得て、1936年2月26日に二・二六事件を起こした

考えてみよう!

当時の人間の気持ちで、あなたの考えをまとめよう。

国民の想いはどこに?

青年将校たちを減刑したことは
<賛成できる方に○をつける>
正しかった ・ 間違っていた
<そう考えた理由>

五・一五事件で国民の意思は政治に
<賛成できる方に○をつける>
反映された ・ 反映されなかった
<そう考えた理由>

やってみよう!

五・一五事件に対する当時の国民の反応について感じたことを、みんなで意見交換してみよう。

より良く世論を形成するために、個人は何をすべきだと考えますか?

世論を担うということ

第二次世界大戦後の現代社会は、もう二度と悲惨な戦争を起こさないようお願い、国際協調をより重視してきました。そのような中で日本も戦後復興を成し遂げ、現在のような平和で豊かな社会を築上げてきました。



やってみよう！ 日本の戦後復興の様子について、まとめよう。

	1946～1955年	1956～1965年	1966～1975年
日本経済に影響を与えた出来事			
景気や国民生活の様子			

日米繊維摩擦の発生



1955年ごろのアメリカでは、日本製の繊維製品が「1ドル・ブラウス」と呼ばれるほどの安値で販売されており、アメリカの繊維産業を破壊するという不安から、日本からの輸入を規制すべきだという声が高まっていました。

当時は日本の人件費がまだ安かったせいで、安く製品を製造することができたのね。それをアメリカに大量輸出することで、日本経済は成長できたのだけど・・・



アメリカの主張

- 1 安い日本製品がアメリカに大量に輸出されることで、アメリカ国内の工場で生産した製品が売れなくなってきており、繊維産業を中心にアメリカの国内産業が潰れるかもしれない
- 2 アメリカの繊維に関連する産業は200万人以上の労働者を抱えており、農村部や地方で多くの女性が繊維産業に従事しているため、彼女達の仕事を奪うわけにはいかない
- 3 日本は国内産業を保護するという理由でアメリカ製品の輸入を規制しているが、一方でアメリカには自由に日本製品を輸出してもいいというのはフェアではない



アメリカは日本に対して、繊維製品の輸出の自主規制を求めたため、日本国内では輸出を自主規制すべきかどうかで、大きな議論となりました。

繊維産業

綿や羊毛、絹、化学繊維等の生産と、それに関連する産業を指す。関連産業には棉花栽培や羊養育などの原料を生産する産業や、繊維を衣服へ加工する産業がある。

自由貿易

保護貿易に反対して、関税や輸入規制を撤廃することで、自由に輸出入できるようにすること。理論上は世界経済全体を発展させることができるが、国々の間で豊かさの格差が生まれることや、国内産業の弱い分野が潰れることに対し批判がある。

自主規制に賛成の意見

- 1 繊維製品の輸出自主規制を行わなかったら、アメリカは日本からの輸入を規制して、第二次世界大戦の原因となったブロック経済をまた始めるかもしれない
- 2 繊維製品の輸出を自主規制しても日本経済にとって影響は少ないが、テレビなどの機械製品の輸出ができなくなったりアメリカ製品が日本に入ってくると、日本経済は傾いてしまう
- 3 日本は日米安全保障条約でアメリカに頼っており、また繊維製品を自主規制できれば沖縄の日本への返還も認めてもらえるだろうから、日本はアメリカの事情に協力すべきだ

自主規制に反対の意見

- 1 日本でも多くの女性労働者が繊維産業に従事しており、工場にも多くのお金がかかっているのだから、輸出を自主規制することになると多くの関係者が生活できなくなってしまう
- 2 日本が国内産業を保護するためにアメリカ製品の輸入を規制しているのがフェアではないというのであれば、繊維産業の自主規制を求めるのではなく、自由貿易を求めるべき
- 3 政治の都合や、他の産業の保護を理由に、繊維産業にだけ経済成長に伴う痛みを背負わせようとするのは理不尽である

ブロック経済

友好国との間だけで貿易を行う体制。
1929年の世界恐慌時に、日本が景気回復策として安い商品を大量に輸出したことで世界各国がブロック経済化し、経済的に行きつまった日本は戦争へと進んでいった。

「糸で縄を買う」

繊維業界を犠牲にして沖縄返還を目指した日本政府を皮肉った言葉。日米の輸出規制協定仮調印の7ヵ月後に、沖縄は日本へ返還された。

痛みを和らげるために

考えてみよう！

アメリカの立場、日本経済全体の立場、繊維産業の立場、沖縄の立場を大切にしながら、解決方法を提案しよう。

繊維製品の輸出の自主規制は
<賛同する方に○> 仕方がない ・ 絶対に反対
<選択した理由>

より痛みが少なく、公正に痛みを分かち合える方法

やってみよう！

繊維製品の輸出の自主規制をすべきかどうか、全員で議論してみよう。

「平和な状態」と「平和ではない状態」はどのような状態なのか、あなたが「平和的だ」「平和的でない」と感じる具体的な状況を挙げてみましょう。

平和な社会を目指して

平和的な状態

あなたが感じる具体的な状況

平和的でない状態

あなたが感じる具体的な状況

ポイント！

平和的でない状況とは、戦争状態だけに生まれるものでしょうか。単に戦争ではない状態というだけで、平和的な社会だと言えるのでしょうか。

民主制の起源

私たちは、「民主制は古代ギリシアで生まれた」と歴史の授業で学びますが、なぜ古代のギリシアで民主制が生まれたのでしょうか。

アテネは元々、王政や貴族政を取っていました。都市国家を守る責任というのは貴族にあり、貴族達は自費で武器や防具を用意して戦争におもむいたのです。そういった貴族たちは都市国家を守る責任を果たす代わりに、政治に参加する権利を持っていました。貴族が都市国家を守らなければ外敵に滅ぼされてしまうのだから、国の方向性を決める権利も貴族にあるという考え方です。当然この頃は、自費で武具を調達し都市国家を守ることに限られた一般の市民には、政治に参加する権利はありませんでした。

転機を迎えたのは、商工業の発達による富の蓄積が起きた頃です。富の蓄積により労働から開放された裕福な市民は、貴族と同様に自費で武装を用意することが可能となり、都市国家を守るための戦争におもむくようになります。当然その対価として、貴族と同様に政治へ参加できる権利を求めます。こうして政治に参加する権利は、貧富の度合いを基準として市民にも開放されていきました。

古代ギリシアの人々がなぜ己の責任として戦争におもむいたのかというと、それにはギリシアの地理的な条件が影響しているようです。狭く痩せた土地で生活しなければならなかったギリシア人たちは、互いに協力し助け合わなければ生きてはいけませんでした。また山がちの地形であるため、都市国家の間に隔たりがあり、都市国家ごとに独自性が生まれました。このような環境によって、都市国家に愛着と同朋意識を持った人々が、助け合いの精神で己の責任を果たそうとしたのでしょう。

貴族が都市国家の防衛を担っていた頃の戦争は、一騎打ちが主流でした。しかし裕福な市民が戦争に参加するようになると戦闘員の数が増えたため、一騎打ちから集団戦へと変化します。裕福な市民で編成された重装歩兵の部隊は密集戦で活躍し、軍事的な優位を作り上げました。そうするとさらに市民の発言力が高まります。

そして紀元前 492 年に起こったペルシア戦争が、決定的な影響を与えました。大国のペルシアと戦うにはエーゲ海での海軍力が重要となり、機動力に優れた軍船には多くの漕ぎ手が必要だったのです。そのような軍船に漕ぎ手として動員されたのが、貧しくて市民権を得られない人々でした。ペルシア戦争に勝利した後、軍船の漕ぎ手として活躍した人々が、国防に貢献したことを理由に政治へ参加できる権利を求めたのは当然でしょう。

こうして政治に参加する権利は、貧富の差を超えて、全ての市民に与えられることとなりました。これが民主制の始まりです。つまり民主制とは義務を果たしたことへの対価として与えられた権利により、生まれたものと言えるでしょう。

このようなギリシア社会においてアリストテレスは、市民の資質として重要なものを指摘しています。それは、権利と責任を行使できる存在であり、独立し自立的に活動する存在であり、積極的に社会へ働きかける存在であるということです。そのような存在こそが徳のある人間であり、互いに統治し統治される中で卓越を競うことが究極の理想でした。

もちろん忘れてはならないこととして、このような古代ギリシアの民主制は、奴隷制の上に成り立っていたことが挙げられます。当然、奴隷には政治に参加する権利はなく、彼らが労働を代わりに担うことで、市民は政治に参加するゆとりを得ることができました。女性も政治に参加する権利がなく、あくまで男性に限られた権利でした。さらには政治に参加する権利を持つ男性もそのほとんどが政治には参加せず、日常的に政治へ参加できたのは、やはり金銭的にゆとりのある市民だけだったのです。

また古代ギリシアの哲学者であるプラトンは、民主制を無知な市民による政治であると言い、非合理的な結論を生みだして社会全体の利益を損なうものだと考えていました。古代ギリシアの民主制は、今日言われているような高い評価を受けるようなものでは必ずしもなかったという指摘もあります。

だからといって、民主政は問題のある制度として悲観する必要はありません。確かにどんな問題も抱えていない完璧な制度ではありませんが、現在考える政治制度の中でも優れた制度であることには、間違いのないのです。では私たちはどのように、民主政と向き合っていけばよいのでしょうか。今日の民主政は、先人達がギリシアの民主政にさらなる改良を加えたものです。いまだ完璧とはいえない民主政と向き合い、さらに良い制度になるよう改良を加えながら、未来の子孫たちに手渡していくことが大切ではないでしょうか。

私たちの まちづくり

小さな市民の 大きな力

第4部

政治と市民



Chapter 15 落ち葉で周辺を汚してしまう木

Chapter 16 救世主兄弟のジレンマ

Chapter 17 中央政府が担うべき役割

Chapter 18 だれに投票すべきだろう？

Chapter 19 より良い地域社会を目指して

Chapter 20 政治に参加する市民になろう！

現代社会には様々な価値観や正義が存在し、それぞれが対立することも珍しくはありません。人間は社会的な存在である以上、異なる考え方や感じ方をする者同士が、主張・議論し共感・合意して、共生していかなばなりません。

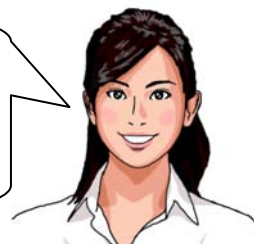
そのためには自由や権利、責任と義務の関係を考え、個人の尊厳と人権を重視しながら、公共的な問題に向き合う必要があります。民主主義のあり方や個人と社会の関係についての視点を持つことができれば、より良い社会の形成に向けて、主体的に参画できるようになるでしょう。

第3部では、平和で民主的な社会の形成者として必要な資質の考察を通して、社会の具体的な課題解決に向き合っていきます。



私たちの社会には立場により異なる、モノの見え方や考え方、価値観、利害があります。ある問題について異なる価値観や利益に基づく、いくつかの主張が対立するとき、私たちはどのように判断し、決断するのでしょうか？

次の問題を例に、あなたならどう判断するか考えてみましょう。



問題

住宅街の中心地に、木々の生える広場があります。この場所は昔から近隣住民の憩いの場所となっており、木陰でのんびりと過ごす人や木の周りで遊ぶ子どもの姿が、毎日のように見られます。冬には住宅街の自治会が主催して、木々に色とりどりのイルミネーションを施すのも、恒例行事として住民達に楽しまれています。広場の木々は、住民達にとって大切な存在でした。

しかし今年になって住宅街の自治会に、木々の生える広場の周囲に住む人々が「広場の木々をすべて伐採して欲しい」と言ってきたのです。住宅街では意見が二つに割れ、大問題となりました。

広場の周囲に住む人々の主張

私たちは長年、広場の木々の落ち葉に苦しんできました。木々は毎日のように葉を落とします。その落ち葉が風に舞い、私たちの家やその周辺を汚すのです。

我が家の玄関前や周囲の歩道は、いつも落ち葉だらけです。人が訪ねてくる度に、とても恥ずかしい思いをします。ひどい時には壁面にも葉屑がこびりつき、その掃除に半日もかかります。

私たちの中には、日々の仕事が忙しく、落ち葉の掃除を行う時間がない人もいます。休日も落ち葉の掃除に追われ、疲れを癒す暇もありません。

多く皆さんは、ただ広場の木々を楽しんでいるばかりで、その被害は少数の私たちに回ってきているのです。被害に苦しんでいる人の意見を聞くべきです。広場の木々を早く切ってください。



広場の木々を愛する人々の主張

私たちは長年、広場の木々を愛し、守り育ててきました。この木々があることで住民が広場に集まり、住民同士が仲良く言葉を交わすきっかけになっているのです。

広場の木々は、大昔からこの場所に生えていました。私が子どもの頃は、よく木々に登って遊んだものです。お爺さんお婆さんたちが子どもの頃も、木々の周りで遊んだそうです。歳の異なる私とお爺さんが、子どもの頃に広場の木々で遊んだ話で盛り上がり、仲良くなることができました。住宅街の住民は、広場にある木々の思い出を通して、ひとつになることができるのです。

広場の木々は、この住宅街の人々をつなげてくれる存在として、後世に残すべきものです。少数の人々の意見を聞き入れて、みんなが大切にしている木々を切ってしまうなど、とんでもないです。

やってみよう!

それぞれの立場から見たメリット・デメリットについて、まとめよう!

	広場の周囲に住む人々	広場の木々を愛する人々
木々を切ると?		
木々を残すと?		
上2つの共通点		



「木々を切るか切らないか」の議論に目を奪われず、その奥にある本当の目的に目を向けると、必ずしも両者が対立しているようには見えないのね。

問題の本質と新しい公共

対立する議論が、実はお互いに共存できるかもしれない要求をしていることは、よくあります。異なる善や利害を偏りなく認めて、できるだけ問題を取り除いていくには、効率的な解決策を示すことで、実現しやすくなりますよ。

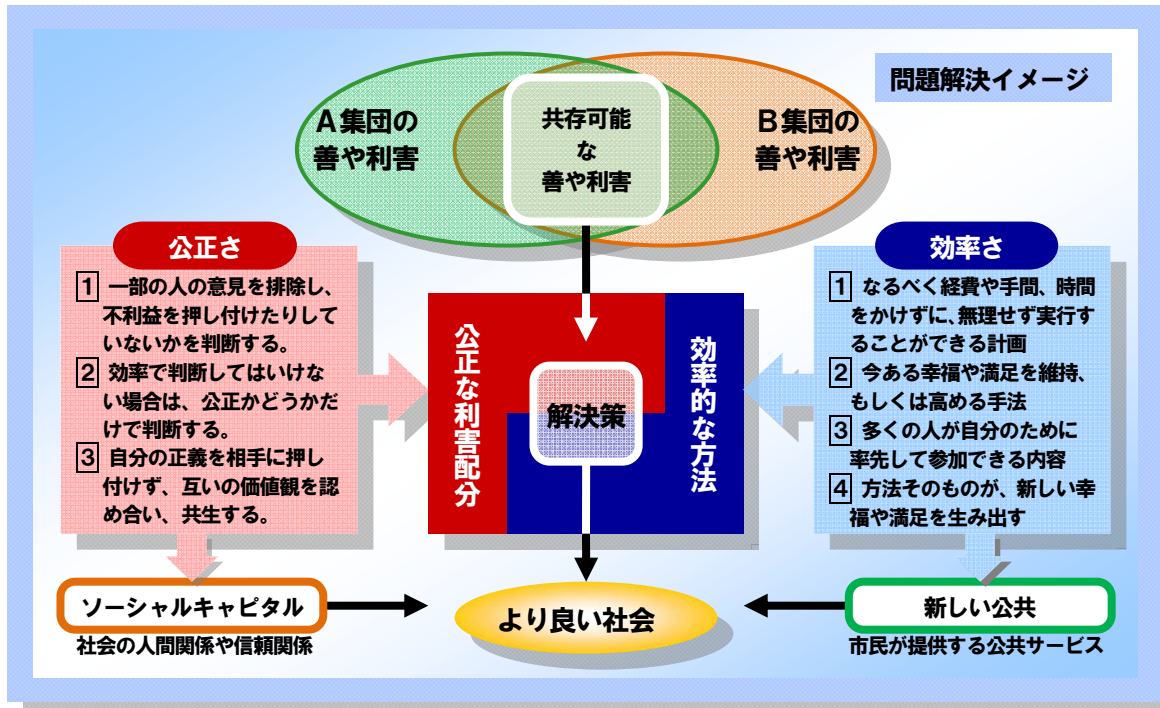


効率

効率とは、誰かの幸福や満足を増やしながら、誰かの幸福や満足を減らすことができるかどうかを問う基準。
誰かの幸福や満足を増やしながら、より多くの人に、より高い満足を与えることができる、「効率的である」と言うことができる。
誰かの幸福や満足を増やす必要がある場合には、効率的かどうかで判断してはならないとされている。

公正

公正とは、公平で偏っておらず、明らかに正しい状態。
公正さは正義につながるが、特定の考え方に基づく善や幸福を絶対のものとして、多様な価値観を認めることが重要。



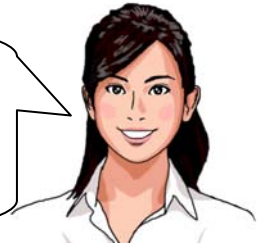
考えてみよう!

効率と公正を意識して、住宅街の住民のつながりを大切にしながら、落ち葉の被害に苦しむ人々を救う解決策をグループで考え、発表しよう!

解決方法	解決策の公正な点	解決策の効率的な点

まだ子どもなのにもかかわらず難病を患ってしまい、治療の甲斐もなく短い人生を終えなければならない人がいます。

もしも将来、あなたの子供が難病におかされ、そのために子どもの生命が脅かされる状況にあったとしたら、あなたは親としてどう行動しますか？



やってみよう！ 難病の子供に対する、あなたの率直な意見をまとめよう。

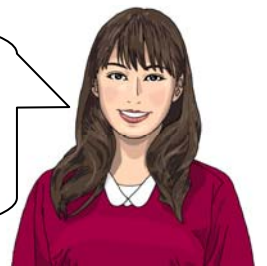
賛同する意見を ○でかこもう！	違法な手段を使ってでも助ける	可能な範囲で助ける努力をする
	最低限の治療程度は受けさせる	仕方のないことだと治療を諦める
選んだ理由		

救世主兄弟の是非



臓器に不治の病を持つ子を助けるためには、他人の臓器を移植するしか方法がない場合もあるんだって。安全に臓器を手に入れることができる『救世主兄弟』を認めるべきか話題になっていると、ニュースで見たよ。

子どもの体に適合する移植用の臓器が回ってくるのには、大変な時間がかかります。臓器が回ってくる前に子どもが力尽きることも多く、救世主兄弟に希望を託す人も多いようです。それに賛成する意見と反対する意見を、見てみましょう。



救世主兄弟 (Savior sibling)

救世主兄弟は病院などで、同じ親から取り出された、とてもよく似た遺伝子を持つ精子や卵子を使って人工的に作られる。

最も適した遺伝子を持つ精子と卵子を選別し、その精子と卵子を人工的に受精させてから母親の胎内に戻すことにより、臓器移植に適した子どもを作り出すことができる。

賛成する人の意見

- 1 体に適合しない臓器を移植すると、その副作用で生活に支障が出たり、結局は命も助からないことが多い。体に適合する臓器は簡単には見つからない。
- 2 同じ親から生まれた子ども同士は遺伝子も似ているため、移植をしても臓器が適合する可能性も高い。人工授精で、より適合する可能性の高い「救世主兄弟」を作れば、救世主兄弟の臓器で子どもを助けることができる。
- 3 病に苦しむ自分の子どもの命を助ける方法があるのなら、どんなことをしても子どもの命を助けるのが親の使命であり、道徳的にも正しい。

反対する人の意見

1 子どもの命を助けるために、別の子どもの命を犠牲にするのは道徳的におかしい。

2 肝臓や腎臓など、半分は移植しても救世主兄弟の命を犠牲にしなくて済む可能性が高い臓器だけを移植するにしても、そのせいで救世主兄弟は体に負担をかかえたまま、人生を過ごさないといけなくなってしまう。

3 兄姉の命を助けるためだけに人工的に生み出された存在だと救世主兄弟が知れば、救世主兄弟は心に傷を負ってしまう。子どもは愛情だけを理由に作られるべきだ。

ポイント!

日本人と外国人の家族観の違い、若い人と年配の人の家族観の違いなどを意識しながら考えてみよう。

考えてみよう!

1 賛成派と反対派の主張を読んで、意見を述べよう。

異なる意見の合意に向けて

あなたの意見	
--------	--

考えてみよう!

2 賛成派と反対派が本当に大切にしたいことは、どの点だろう?

賛成することで、どうしたいのか?	誰	何	どうしたい?
	<input type="text"/>	の <input type="text"/>	を <input type="text"/>
反対することで、どうしたいのか?	誰	何	どうしたい?
	<input type="text"/>	の <input type="text"/>	を <input type="text"/>

考えてみよう!

3 賛成派と反対派が合意できそうなルール（法律）を考えてみよう!

あなたが考えた法案内容				
OKのラインまで、色をぬろう	絶対ダメ	本人がOKするなら問題のない範囲で	本人の意思に関係なく問題のない範囲で	親の自由
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

対立する意見を合意させるには ?

(1) 各意見の を見極める。

(2) 賛成か反対かではなく、 で考える。

対立を合意に変える視点

発展

私たちの身近にある、対立と合意の様子を探してみよう。

中央政府が担うべき役割

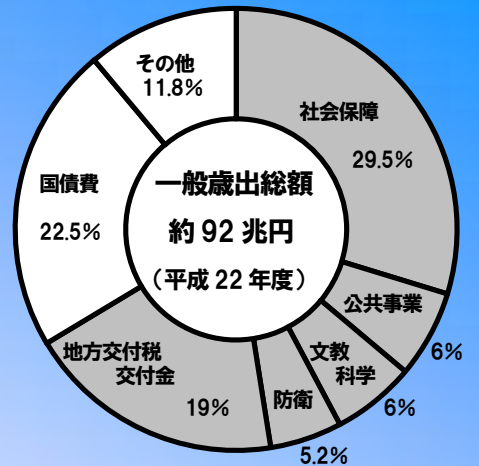
—— 国の姿を決めている、税と国家予算 ——

国の財政支出を見ると、その国が今どういう状態にあり、どういう国になろうとしているのかを読み取ることができます。
日本の財政支出を見ると、日本はどのような国であると言えるでしょうか？



やってみよう！ 日本の一般歳出の様子をまとめてみよう！

歳出内容	歳出額	このお金を歳出することの利点
社会保障	約 兆円	
公共事業	約 兆円	
文教・科学	約 兆円	
防衛	約 兆円	
地方交付税 交付金	約 兆円	



歳出で最も多い〔 社会保障 〕は、今後〔 増える ・ 減る 〕見込みである。その理由は〔 高齢化の進展 〕ためである。
地方交付税交付金も多いのは、〔 地方自治体の財政的困窮 〕ためである。

財政赤字問題と歳出削減

新聞やテレビを見ていると、日本は財政赤字だという話をよく見かけるけれど、税として集めたお金より、政府が使うお金の方が多いということよね？



プライマリーバランス

国債の発行や償還を除いた本来の税収と、必要な歳出のバランス状況のこと。基礎的財政収支とも言う。

税収より歳出が多いと赤字となり、税収より歳出が少ないと黒字になる。

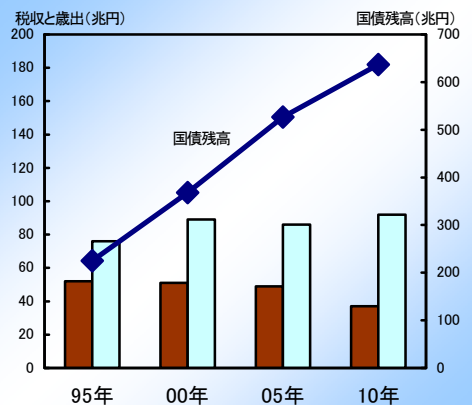
財政は、税収と歳出が同額になるように、プライマリーバランスを均衡させることが重要。

歳入不足を補うために、国債を発行して、借金をしているんだよね。
プライマリーバランスを均衡させることが、日本の課題なんだって！



税収・歳出・国債残高の推移 ⇒ (1995年~2010年)

■ 税収 □ 歳出



今の日本は、いつか借金を返せるだろうという信用があるために、国債を発行して税収不足を補うことができます。しかし、このまま国の借金が増え続けると、いつか借金を返せなくなり、信用が無くなって、国債の発行が難しくなります。将来、財政破綻するのではないかという不安の声もあります。



もしもの時のために、税収を増やすか歳出を削減して、国債をできるだけ発行しないようにする必要があるよね。どの種類の税金を増やして、どの内容の歳出を削減したら、みんなが納得できるのかな？

佐藤さん(65歳)の主張

年金しか収入源のない世代にとって、社会保障の歳出を減らされてしまうのは、とても辛いね。病院へ通うことも増えたから、むしろ社会保障への歳出を増やして、支援してほしいよ。今まで一生懸命に働いてきたから、老後は半年に1回は旅行をしようって決めていてね。そんな中、消費税の税率を上げられてしまうと、日々の生活に余計にお金がかかってしまい、楽しみにしていた旅行にも行けなくなってしまう。困ったものだよ。もっと高齢者に優しい社会にして欲しいね。

鈴木さん(42歳)の主張

私たち子育て世代は、教育への歳出が削減されるのには反対です。子育てにはお金がかかるんです。子どもは国の未来を担うのだから、国が教育への歳出を増やして、手厚く子育てを支援するべきでしょう。そうすれば少子化だって、解決に向かうはずですよ。だから、所得税の税率が上がってしまうと、とても困ります。どれだけ働いてお金を稼いでも、税金をたくさん取られたら、子どもの教育に回せるお金が少なくなってしまいます。もっと子育てしやすい社会にしてください。

渡辺さん(26歳)の主張

最近では就職難で、学校を卒業しても仕事が無く、生活費を十分に稼げない。自分の生活も苦しいのに、これ以上、税金を納めるなんて無理。特に少子化の影響で、少ない若者世代が多くの高齢者世代を支える状態になっている。これは不公平ではないのか？今のままでは、私たちの未来は真っ暗だ。社会保障の歳出を削減し、お金のある人や企業、高齢者からも能力に応じて税金を集め、若者世代の負担を軽くすべきだ。若者が希望を持てる社会にして欲しい。

建設会社社員の主張

最近是不景気で会社の経営も厳しく、給料も下がる一方だよ。こんな時に公共事業への歳出が減らされてしまうと、会社の仕事が減って倒産し、失業してしまうのではないかと、心配になってしまうね。国はもっと、経営の苦しい企業を支援すべきじゃないかな。それには、会社にかかる様々な税金の税率を上げたりせず、企業が利益を得られるようにすべきだね。企業が儲かれば社員の給料も増えて、その社員がお金を使うことで、日本全体の経済も良くなると思うよ。

IT企業会長の主張

世間では景気が悪いみたいだが、そんな中でもニーズのあるサービスを提供できれば、わが社のように利益を上げることができる。けども、法人税の税率を上げられてしまうと、国に仕事を邪魔されているようで、努力をする気力がなくなるね。同じく、所得税や相続税の税率も上げられてしまうと、日本で働く気が失せるよ。勝ち組になりたくて必死にお金を稼いで成功しても、儲けを国に持っていかれちゃうんだから。そうになったら、会社ごと海外に移ろうかな。

市役所職員の主張

最近では財政難で地方交付税交付金が減額され続けていますが、地方公共団体は予算の7割を地方交付税交付金が占めているので、とても困っています。地方公共団体は、住民に身近なサービスを数多く提供しています。保育園や学校を作ったり、住民が暮らしやすい街づくりをしたり、生活に困っている人の支援もしています。地方交付税交付金がなければ、これらのサービスを提供できなくなり、住民生活も苦しくなります。毎年、私の給与も減らされて悲しいです。

財政破綻

財政を運営するために必要な税収が足りず、それを穴埋めするための借金もできない状態。デフォルトとも言う。財政破綻が起こると、主に通貨の価値が暴落して超インフレになったり、大増税が必要になったりして、国民の生活が極めて苦しくなる。日本が今後、財政破綻するかどうかについては、破綻の危険性があるという主張と、破綻の危険性は無いという主張があり、意見が分かれている。

ポイント！

財政というものは長期にわたって、広範囲に影響を及ぼします。現在の歳出を減らしたり増税をしたりすることで、今の生活だけでなく、将来の生活のあり方も変化してしまうのです。歳出を増やすことで好景気となり、国民の収入が増えることで税収も増え、結果的に財政赤字の解消へ繋がる場合もあれば、反対に増税で不景気となり、税収が減ることで財政赤字が拡大する場合もあります。目今の生活だけでなく、遠い将来や、影響を受ける様々な立場の人の変化を意識しながら、財政のあり方を考えてみましょう。

発展

財政や税制については、他にも様々な主張があります。新聞やインターネットなどで、できるだけ異なる意見を多く集めてみましょう。

- (1) 「削減すべきでない歳出」や「高くすべきでない税」と考える順に、1～5位まで順位を書き入れましょう。
 (2) 「先に削減すべき歳出」や「先に高くすべき税」と考える順に、1～5位まで順位を、色ペンで書き入れましょう。(色ペンがない場合は、「①」「IV」のように、区別しやすい形で書き入れましょう。)

分野	歳出内容	金額	順位
社会保障関係歳出	社会保険費（年金や医療・介護保険に上乗せされる、国からの支出金）	約 2.0 兆円	
	生活保護費（金銭的に生活が困難な人に対する、支援金の給付費用）	約 2.1 兆円	
	社会福祉費（母子家庭や障害者への支援や、子ども手当などの費用）	約 2.5 兆円	
	保険衛生対策費（感染症対策や健康増進、原爆被害者援護などの費用）	約 0.4 兆円	
	雇用労働対策費（失業者への金銭的支援や、就職支援の費用）	約 0.2 兆円	
公共事業関係歳出	社会資本総合整備事業費（まちづくりや住環境整備への援助）	約 1.8 兆円	
	道路整備事業費（道路を建設したり補修したりする費用）	約 1 兆円	
	治山治水対策事業費（川の氾濫など自然災害を防ぐ工事の費用）	約 0.7 兆円	
	農林水産基盤整備事業費（農地や農道を改良するための費用）	約 0.4 兆円	
	住宅都市環境整備事業費（市街地や公共施設を整備する費用）	約 0.5 兆円	
	港湾空港鉄道等整備事業費（港や空港を整備するための費用）	約 0.3 兆円	
文教科学歳出	教育振興助成費（教科書配布や、私立学校・国立大学への援助）	約 2.4 兆円	
	義務教育費国庫負担金（公立学校教師の給与の費用）	約 1.5 兆円	
	科学技術振興費（宇宙開発など科学技術を振興する費用）	約 1.3 兆円	
防衛関係歳出	人件・糧食費（自衛隊員への給与や携帯食糧の費用）	約 2 兆円	
	物件費（武器の購入や修理、兵器の燃料などの支出）※基地対策は除く	約 1.7 兆円	
	基地対策経費（基地周辺住宅の防音対策や在日米軍などの経費）	約 0.8 兆円	
地方交付税交付金（地方公共団体に運営費として配分される）		約 1.7 兆円	
税（歳入）	所得税（個人の収入にかかる税金で、収入額に比例して税率が高くなる）	約 1.3 兆円	
	消費税（商品の販売やサービスの提供時にかかる税金）	約 1.0 兆円	
	法人税（企業の収入にかかる税金）	約 7.8 兆円	
	揮発油税（ガソリンなどの値段に上乗せされている税金）	約 2.6 兆円	
	酒税、たばこ税（酒やたばこの値段に上乗せされている税金）	約 2.2 兆円	
	相続税、贈与税（家族や他人から財産を貰うときにかかる税金）	約 1.4 兆円	

やってみよう!

財政の優先順位について、グループで話し合おう!

(1) 自分が考えた優先順位を互いに説明し合い、グループで話し合っ、グループメンバー全員が納得できる優先順位に統一しましょう。統一できたら、下の説明文の空欄を埋めて、まとめましょう。

「歳出削減すべき」「増税すべき」優先順位1位の内容

私たちのグループは、を中心に（歳出削減 ・ 増税）

を行うことを提案します。この（歳出削減 ・ 増税）が今の日本に最も適している理由は

だからです。

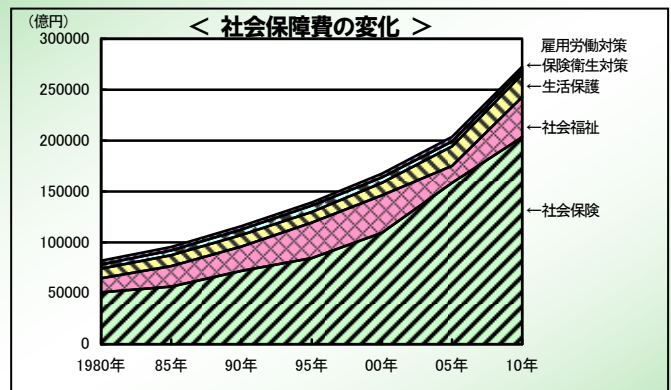
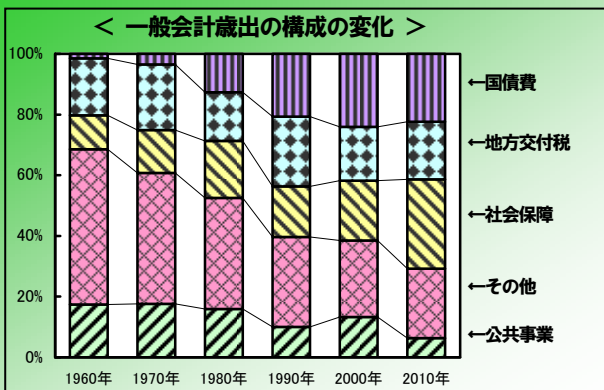
「歳出すべき」「高くすべきでない税」優先順位1位の内容

財政とは を維持するためにあるべきだと、私たちは考えます。

そうすることで、日本を <どのような暮らしのできる国にしたいか>

国にできるからです。

(2) 各グループでまとめた内容を発表して、どのグループの主張が最も納得できるものであるかを全体で議論し、我々は日本をどういう国にしたいと考えているのか確認しましょう。



<税金の種類と税率・税額>

2011年時点(法改正により現在は変更されている可能性があります)

所得税	1年間の収入が195万円以下・・・5% 195万円以上・・・10% 330万円以上・・・20% 695万円以上・・・23% 900万円以上・・・33% 1800万円以上・・・40%			
	※単身世帯の場合は114万円以下、夫婦+子ども1人世帯の場合は220万円以下は課税されない			
法人税	原則30% ※資本金が1億円以下の中小企業は、収入800万円分までは22%（超えた分からは30%）			
揮発油税	1キロリットルあたり24300円 ※ただし2018年3月31日までは1キロリットルあたり48600円			
酒税・たばこ税	1キロリットルあたりビールが22万円、醸造酒が14万円		たばこ1000本あたり6122円	
相続税	1千万円以下 10%	5千万円以下 20%	1億円以下 30%	3億円以下 40% 3億円以上 50%
贈与税	2百万円以下 10%	4百万円以下 20%	6百万円以下 30%	1千万円以下 40% それ以上 50%

これから、私たちの代表を決める選挙をします。選ばれた人が私たちを代表して地域の議会に参加し、私たちの目線で感じる様々な問題や課題を行政に指摘し、私たちの生活がより良くなるように働きかけてくれます。私たちの意見をより良く行政に伝えてくれそうな人を選びましょう。



皆さんのために頑張ります。投票よろしく！



美和さん

代表の仕事を頑張ります。投票おねがい！



八雲君

一生懸命に頑張ります。投票してね！



茜さん

やってみよう！ 茜さん、八雲君、美和さんの中から、代表を1人だけ選ぼう！

選んだ人	この人を選んだ理由

選んでみて選びやすかったかどうか、その理由も一緒に考えてみましょう。

何を基準に選ぶのか

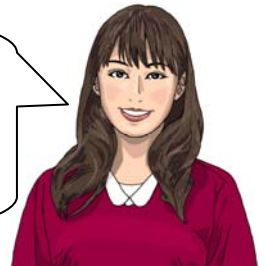
ドブ板選挙

政治家が有権者1人1人と握手をしたりしながら、自分への支持をお願いする行為。戸別訪問など、実施方法によっては公職選挙法違反になる。

ポイント！

そもそも選挙とは何のために行うものなのでしょうか？選挙を行う意義や目的を意識しながら、どうすれば良いのかを考えてみましょう。

私たちは選挙で代表を選ぶときに、様々な基準で各立候補者を見極めて、投票をしています。選挙権を持つ大人の方は、どういう基準で立候補者を見極めているのでしょうか。話を聞いてみましょう。



Aさん

私たちの代表を選ぶときはね、よく知っている人から選ぶようにしているよ。近所に住んでいる人や親しい人、親族や友人から紹介された候補者なら、人間性をよく知っているから、信頼して任せられるんじゃない？

Bさん

私たちの代表を選ぶときは、自分のおかれた立場に似ている人を選んでいきます。性別が同じだったり年齢が近かったりすると、感じていることや考えていることも近いと思います。それって、自分の代わりを選ぶことになるんじゃないかな？

Cさん

私たちの代表を選ぶときには、各立候補者が考えていることを聞いて選んでいます。話を聞かないと相手の考えなんて絶対に分からないし、「何をどうしたいのか」を説明することができない人には、心配で任せられません。しっかりと立候補者の主張を見極めることが大切だと思っています。

選挙公報

選挙に立候補した各立候補者についての情報が掲載されたもので、選挙の時に税金で印刷され、有権者に配られます。



近年、選挙に立候補している人がどういう人物なのか分かりづらく、誰に投票してよいのか困るという声が聞かれます。選挙公報にどのような情報が載っていれば、困らずに投票したい人を判断できるようになるのでしょうか。選挙公報に載せるべき情報の内容を、具体的に考えてみましょう。

考えてみよう！

1 選挙公報に掲載が必要な情報を挙げてみよう！

選挙公報を作ってみよう！

掲載すべき、立候補者に関する情報の種類	この情報の掲載が必要な理由

考えてみよう！

2 まちの議員に立候補するつもりで、あなたの選挙公報を作ろう！

<候補者の顔写真>	候補者名	年齢

やってみよう！

投票する時の「判断」に使いやすいかどうか、お互いに評価しよう！

近年、住民参加のまちづくりを行う地域が増えてきました。大人から子どもまで、色々な立場の人が集まって話し合い、住民と役所が協力して地域の課題を解決したり、これからのまちづくりの目標を決めたりしています。



4部 現代と市民

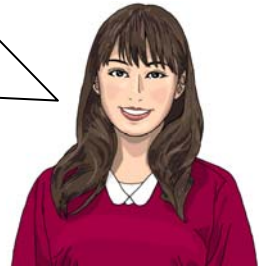


住民会議やこども議会を開催して、まちづくりワークショップを行ったというニュースを、耳にしたことがあるよ。でも、まちづくりワークショップって、具体的にどういうことをするのか？

ワークショップの流れ

これから私たちのまちを舞台に、実際にまちづくりワークショップをしてみましょう。

まちづくりのテーマは、「世界に誇ることができる、持続可能なまちをつくろう」です。これまでの学習成果を生かして、実際の社会を改善していきましょう！



ワークショップ

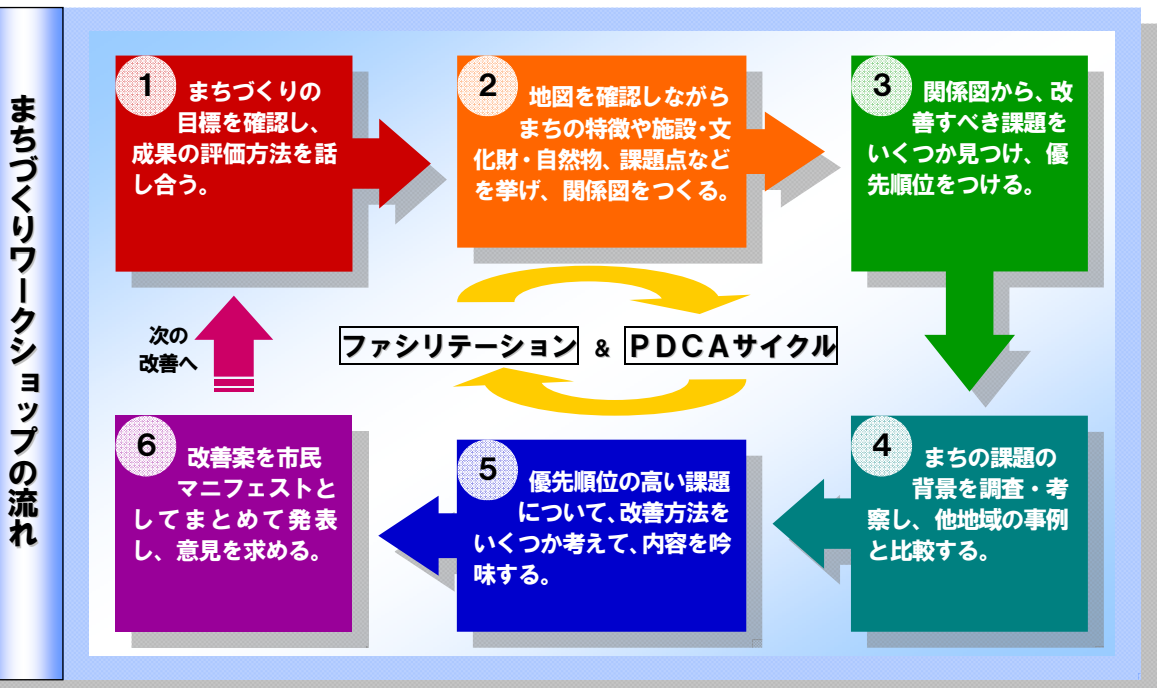
共同で問題解決や学び・トレーニングを行う場のこと。

司会者(ファシリテーター)が中心になって、みんなで話し合い、相互に学びあい、合意を形成していく。

市民マニフェスト

マニフェストとは政治家が市民に提示する、具体的な政策実現方法をまとめたもの。

市民マニフェストとは市民が考えた、具体的な政策実現方法をまとめたもので、市民側から広く社会に提示することで、市民の声を役所や政治家に届けたり、選挙の争点にしたりする効果を持つ。



用意するもの

- ・ふせん紙 (75mm×75mm 程度のもの)
- ・模造紙
- ・マジックペン (3色以上)
- ・地図 (都市計画図もしくは詳細な白図)
※該当自治体の役所にて購入できる

事前準備

- ① 考え方や立場、住んでいる地域が異なる人とグループ (4~5人程度) を作ります。
- ② アイスブレイクを行い、わだかまりを取り除きます。
- ③ 司会者、書記、備品管理など、グループメンバー全員に役割を割り振ります。

参照ページ
ファシリテーション
⇒ P.12~13
PDCAサイクル
⇒ P.8~9

探求課題

世界に誇れる持続可能なまちをつくるには、何をどう改善すべきか
市民マニフェストを作成して提言しよう！！

まずは目標を確認しましょう。「世界に誇る」ことができ、
「持続可能」な状態とは、どういう様子でしょうか？
具体的な様子を思い浮かべて、話し合ってみましょう。



持続可能性

文明的な人間生活が、
将来においても持続で
きるものであるかどう
かを指す。

考えてみよう！

1 具体的な状況を、思いつく限り出しましょう。

目標の確認と
評価方法

「世界に誇れる」のは、何がどういう状態のとき？	「世界に誇れない」のは、何がどういう状態のとき？

「持続可能なまち」とは、何がどういう状態？	「持続可能でないまち」とは、何がどういう状態？

考えてみよう！

2 世界に誇れる持続可能なまちの、具体的な目標をまとめよう。

世界に誇れる持続可能なまちにするため、私たちは

誰・何	が (を)	どうなる・どうする
	が (を)	
	が (を)	

ことを目標にします。

評価方法の決定

始めに評価方法を定めることで、目標を意識したまちづくりが可能になります。

まちづくりの目標を確認するために話し合った、具体的な目標の内容がそのまま、まちづくりの成果の良し悪しを評価する項目になります。



やってみよう! まちづくりの成果の評価方法をまとめて、自己評価表をつくろう!

評価項目（「誰・何」が「どういう状況」になっている）	評価（1～4）

【自己評価表の使い方】

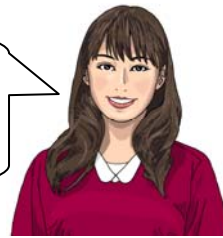
まちの改善案をまとめた後に評価の欄に、自己評価表の各項目の内容を1～4の4段階で、十分に達成しているか評価しよう。
 「1」・・・達成不可能 「2」・・・達成状況は50%未満 「3」・・・達成状況は50%以上 「4」・・・十分な達成

まちの関係図を作る

考えてみよう! 各自で、まちの特徴や問題を挙げてみよう。

まちの良いところ (誰にも賛同されるもの) 1人5つ以上	
お気に入りの点 (個人的な感想) 1人5つ以上	
まちの問題点 (誰にも賛同されるもの) 1人5つ以上	
不満なところ (個人的な感想) 1人5つ以上	

個人で考えた「良いところ」「お気に入りな点」「問題点」「不満なところ」を1つ1つ別々にふせん紙に書き出して、模造紙に貼り付けて、関係図を作りましょう。



ポイント!

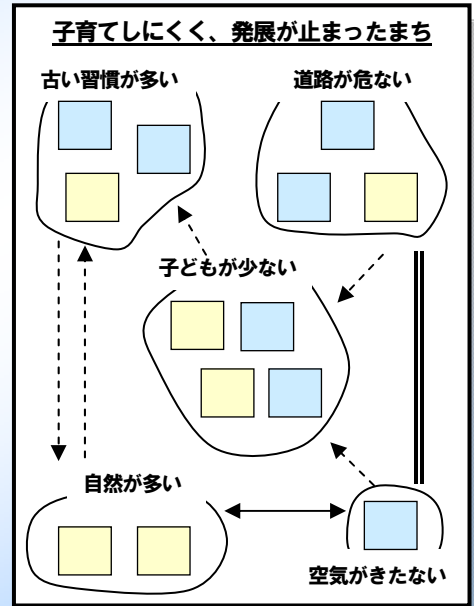
まちの良い面をより伸ばすことも、まちづくりでは重要な課題となります。

関係図の作り方

- (1) ふせん紙を、同じ内容や似た内容ごとに1つのグループとして整理して貼り付けて、マジックペンでグループごとに円で囲みます。
- (2) 各グループの内容や特徴を簡潔に、グループの円のそばに書きます。
- (3) グループ間の関係性を考えて、グループ同士を線で結びます。

	関係性の内容	線種
同盟	グループ同士が、さらに1つのグループとして結びつきそうときの線	====
対立	一方のグループを優先すると、もう一方のグループが損なわれるときの線	←→
影響	あるグループの影響を受けて、もう一方のグループが成り立つときの線	- - - ->

- (4) 作業の途中で新しく生まれてきた意見も、ふせん紙に1つ1つ書き起こして、他のふせん紙と同じようにグループ分けしていきましょう。
 - (5) 関係図全体を見通して、私たちのまちがどのようなまちであると言えるのか、模造紙の空いている部分に大きく書きます。
- ※ 地図上にふせん紙を貼り付けて、空間的に課題の所在を捉える方法も有効です。



考えてみよう!

関係図を参考にして、重要な課題から順に数字で、取り組むべき優先順位をつけよう!

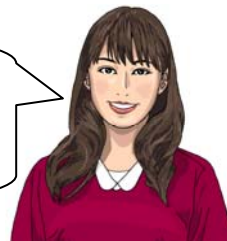
課題の把握と優先順位

まちを改善するために取り組むべき課題	優先順位

このように優先順位を決めた理由

まちの調査と事例研究

実際にまちを見て回ったり、資料の読解や役所の担当者・専門家・地域住民へのインタビューを行ったりして、課題が生まれた背景や現状、今後の展望などを調査しましょう。



ポイント！

私たちのまちと他地域を比較する時には、地域ごとに異なる事情の違いに注意しましょう。ある地域で上手くいった方法が、別の地域でも上手くいくとは限りません。

また、地域が異なれば、住民が求める理想の具体的な詳細も異なってきます。他地域の改善方法を参考にするときは、私たちのまちの実情に適した内容に、改善方法を作り変える必要があります。

調査する内容

原因

まちの課題がどういう原因で生まれたのか

核心

課題の中で特に問題となるものは何か？

対応

課題について、役所の担当者や地域住民は、どう考えているのか

比較

他地域における様子はどうか？

調査する方法

現地調査

課題が発生している場所に赴いて、実際に目で確かめる

聞き取り調査

役所の担当者や専門家に、課題についてのインタビューを行う

アンケート

地域住民に、課題についての広範な認識確認を行う

資料分析

書籍やインターネット等で、課題に関する情報を集めて分析する

やってみよう！ 調査項目を具体的に考えて、調査計画を立てよう！

調査場所	調査方法	具体的な調査内容

課題の改善策を立案する

いよいよ、まちの課題に対する解決策を立案します。いくつか考えた解決策の中から、メリットやデメリット、目標の達成度を意識しながら、1つの案を選択します。



中間発表

ワークショップでは独りよがりにならないように、何度か中間発表を行い、他の人の意見を取り入れていくことも重要です。方針を決定する節目ごとに、中間発表をしましょう。

立案する時の視点

目標達成度

当初に設定した目標を、どれだけ満たすことができるか

メリット

どれだけ問題を発生させずに、大きな効果をもたらすことができるか

費用対効果

どれだけ少ない費用や手間で、より大きな効果を生み出せているか

実現速度

どれだけ解決策の実現が容易で、改善効果が早く現れるか

やってみよう!

複数の解決案について、4つの視点の各欄に評価を書き込もう!

解決案の内容	目標達成度	メリット	費用対効果	実現速度

【評価方法】 「◎」・・・とても良い 「○」・・・比較的に良い 「△」・・・あまり良くない 「×」・・・悪い

立案した改善策を市民マニフェストとしてまとめて、発表しましょう。メリットだけでなくデメリットも含めて、立案した改善策の実像を正しく伝えることが重要です。



市民マニフェストの提案

投票

投票は多数決であると同時に、集団の意思を知るための方法でもあります。安易に多数決で物事を決めることは良くありませんが、必要な議論を尽くした後に、投票で集団の意思を確認することは大切なことです。投票を実施したり投票に参加したりすることは、民主主義を支えることにつながります。

市民マニフェストの内容

実施目的

「何がどう課題」なので、「何をどうする」改善が必要なのか

実施手順

課題が解決されるまでの、具体的な実現方法の流れ

実現期限

いつまでに改善を実現させることが可能か、改善までの日程

実現費用

実現に必要な金額と、その費用をどうやって確保するかの方法

明確に分かりやすく、数値等を使って具体的に記述する

陳情

議会や行政に対して、違憲や要望を伝え、対応を要請すること。陳情の方法については P.60 を参照のこと。

市民マニフェストの発表

1 クラス内発表

グループごとに市民マニフェストを発表し、批判や反論、改善の助言を受ける

2 検証と修正

批判や反論、助言の内容を検討し、市民マニフェストに修正を加える

3 自己評価

修正した市民マニフェストについて、自己評価を行う (P.54 の自己評価表を活用)

5 行政へ提出

市民マニフェストに投票結果も添え、陳情として議会や役所に提案・提出する

4

市民マニフェストの内容を審査してもらい、賛同できるマニフェストに投票してもらう

投票の実施

市民マニフェストをポスターや広報として一般公開し、保護者や後輩達に見てもらおう

ポイント!

改善策を立案する時も、聞き取り調査や資料分析を行うことで、改善方法を具体化するための情報を入手することができます。

実施目的

私たちはこのまちを、世界に誇れる持続可能なまちにするために、

<P.45 でまとめた目標> _____
 _____ まちにしたいと考えました。

このまちには _____ が _____

という課題があります。そこで、この課題をより良く解決するため、 _____

_____ を _____ ことを提案します。

具体的な実施方法(実現までの手順)

手順の詳細な内容

実施までに必要な期間

総費用

約 _____ 円

総期間

_____ 年 _____ ヶ月

メリット

デメリット

費用の捻出方法(財源)

教育基本法には教育の目的として、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成が掲げられ、その目標の1つとして「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが挙げられています。これは一体、何を意味しているのでしょうか？



社会の形成者としての市民

「市民社会」「市民活動」という言葉があります。この場合の「市民」は、市に住んでいる人々という意味ではありません。社会的な問題や公共的なことから関心を持ち、行動することのできる人々のことを指しています。そういう市民から成り立つ社会を「市民社会」、そういう市民が参加する活動を「市民活動」と呼んでいます。

社会で様々な立場や価値観を持つ人々が共存していくためには、1人1人が社会に関わることをいとわず、公共的な問題に関心を持って関わろうとすること、つまり社会と国家への積極的な関わりへの自覚を持った、市民になることが重要です。身近なところでは、地域社会や自治体への関わりの自覚が、人を「市民」にすると言ってもいいでしょう。

地域社会の問題に、その地域の住人が誰ひとりとして関心を持たず、問題に関わろうとしなければ、その地域社会はどうなるでしょうか。もし行政の仕事に、誰ひとりとして関わろうとせず、誰も税金を払わなかったら、どうなると思いますか。社会的な問題や公共的な問題の解決に、誰ひとりとして協力せず、社会的なルールを守ることも無視して、みんなが自分の個人的な利益や快樂の最大化にしか関心を向けなくなってしまうたら、どうなるでしょう。

欲望にまかせて、やりたい放題をする人も出てくるでしょう。力のある者は一時的には得をすることもかもしれませんが、より力のある者に屈服させられ、やがて多くの人々が安心して暮らすことのできない世の中になってしまいます。力のある者もいずれ社会の富の全てを食らい尽くし、1人ではとても抱えられないほど大きな、世界のあらゆる問題を、自分だけで抱え込むことになってしまいます。そのような社会は結局、強者も含め誰ひとりとして幸せにはなれない社会です。

力のある者だけが生き残り、力のない者は不条理な抑圧を受けるような社会にならないよう、私たちは絶えず関心を持って社会を見つめ、協力して公共的な問題を解決し、社会をより良いものへと改善していく必要があります。そのための能力を持ちつつ、社会的責任を分かちあえる者が「市民」なのです。

現在の日本では、未成年者には選挙権が与えられていません。しかし、市民としての能力である「市民性（シティズンシップ）」を身につけるためには、子どもの頃から意識して社会と向き合い、社会の問題を解決する市民の協働に参加しなければなりません。市民性とは、成人を迎えただけで自然と身につくものではないのです。子どもの頃から自覚的に市民性を育てていかなければ、大人になっても市民性が身に付かないままにいる可能性があるのです。

選挙権は、市民性が十分に身につけているかどうかを問わず、日本国民であれば20歳になると自動的に与えられます。戦後の日本では成人に市民性が身につけているかどうかは、あまり問題に

教育基本法

教育についての原則を示した法律。教育についての様々な法律の根源になる法律であることから、「教育憲法」とも言われている。

シティズンシップ

「市民性」や「市民権」と訳される。市民としての地位や権利、義務、能力の束を意味している。本来、市民としての権利と義務は、市民としての能力とは切り離せないものであった。

市民性と子どもの政治参加

選挙権のない子どもにもできる「陳情」

陳情は大人に限らず、子どもでも行うことができます。議会に提出した陳情書は、次回の議会開催時に、各議員へ配布されます。陳情は、陳情内容に合った部署へ行いましょう。また陳情の前に、いつ陳情書を提出しに行けばよいか、相手側に確認しましょう。

陳情書の書き方

- (1) 最上部に、陳情のタイトルをつけます。
- (2) タイトルの下に陳情の要旨（陳情の内容）と、なぜ陳情を行うのかの理由を記述します。
- (3) 下部に陳情書を提出する日付、陳情者の氏名と住所を書き、氏名の横に自分の印鑑を押します。
- (4) 最下部に提出先を書きます。議会に提出する場合は議長宛に、役所に提出するときは担当部署宛に提出してください。
- (5) 最後に、陳情のタイトルを書いた表紙をつけます。

〇〇〇に関する陳情

陳情要旨：
.....
.....

陳情理由：
.....
.....

平成〇年 〇月〇日
住所：〇〇市〇〇〇 〇-〇〇
氏名：〇〇 〇〇 印

〇〇市議会議長
〇〇〇 〇〇 殿

金の卵

高度経済成長期は人手不足の時代であり、中卒や高卒の若者を「金の卵」と呼んで、労働者として重宝した。

選挙権

日本では日本国籍を持つ20歳以上の男女に与えられますが、地方自治における住民投票等においては、未成年者にも投票権が与えられる場合もあります。

また国によって、選挙権が与えられる年齢が異なります。

社会参加へ向けて

非正規労働者

雇用契約が期間限定であり、正規雇用と比べて給料も少なく、不安定である。

人件費削減を理由に、増加傾向にある。

はなりません。多くの人が中学校や高校を卒業した段階で就職して税を納める立場となり、自分の努力と日本の発展がつながっているように見えたため、日本社会を支えていこうとする意識を強く持てたからだと言われています。仕事を通して社会的なつながりを感じる人々が多かった日本社会は、悪しき「企業社会」という批判も受けましたが、それでも当時の若者達の多くは、否応なく市民性を自覚し、選挙権を得る頃には市民になっていくことができたようです。

現在の日本は高学歴社会です。成人を迎える前に就職し納税する人は、あまり多くはありません。さらに、長らく続く日本経済の不況の影響で「企業社会」は崩壊しつつあり、経済的に不安定なフリーターや非正規雇用、就職したくてもできない者、就学や就職もしないニートの増加が、社会問題となっています。自分の努力が社会の発展に結びつくようには見えにくく、自分自身の生活を維持することに精一杯な社会では、昔のように仕事を通して社会とのつながりを感じる事が難しくなっています。日本の発展に貢献するという確固たる未来を描くことが難しい不安の時代では、社会の発展に貢献することで社会が生活上のリスクを引き受けてくれるという感覚も、持てなくなると言われています。つまり若者が市民性を育む機会が、失われているのです。

こうして社会との関わりを失った若者の市民性の欠如は、極端な投票率の低下となって表れています。このままでは私たちの社会は、誰も社会的な問題や公共的な事柄に関心をもたず、少数の力のある者が不条理な支配と抑圧を行う社会になりかねません。

私たちの社会において、市民性を育む機会は少なくなっています。市民社会を荒廃させず、平和で民主的な国家および社会を形成するために、私たちは学校において市民性を育てていかねばなりません。選挙権はなくとも、地域づくりに参加したり議会や行政に陳情したりして、公共的な問題について判断し、意見を述べることは可能です。私たちの社会は、子どもの政治参加や社会参加にも開かれているのです。

これまで学習してきたことを参考に、学校で身につけた様々な知識や経験を生かして、勇気を持って社会に参画しましょう。そして成人を迎えた暁には、市民として自信を持って選挙に来てください。あなたと私たちが協力して社会の問題を1つ1つ解決していき、皆が幸せで暮らしやすい素敵な社会に、少しずつ近づけていきましょう。